

2024年度の事業報告書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

特定非営利活動法人寺子屋プロジェクト

1 事業実施の方針

- ・以下の事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額 (単位：千 円)
①子どもを中心 に幅広い 世代が集まる 学びの場 を運営する 寺子屋運営 事業	・園児から高校生までの子どもたちと、幅広い世代の大人たちが集まる学びの場の運営や、探究学習、プログラミング学習などの教育サービスを行う。	(A) 185回 (B) 京都市内の寺社、オンライン (C) 20人	(D) 学びの場の参加者 (E) のべ1900人	2909
②子育て・教育活動を行おうとする寺社や地域団体などを支援する寺子屋開設支援事業	・各地の寺社や地域団体などと連携し、より良い子育て・教育の場を実現するための支援活動を行う。	(A) 5回 (B) 京都市内の寺社 (C) 1人	(D) 寺社関係者 (E) のべ10人	120
③子育て・教育活動を行おうとする社会人に運営のノウハウを伝える社会人教育事業	・子育て・教育活動を行おうとする人を対象にした連続的な講座を行う。 ・本年度は、実施しなかった。	—	—	—
④学校や教育委員会などと連携して公教育の質の向上を目指す公教育	・各地の教育委員会などと連携し、学校教育や土曜学習等の質を高めるための支援活動を行う。 ・本年度は、実施しなかった。	—	—	—

連携事業				
⑤書籍・電子媒体等を発行してより良い子育て・教育の普及を図る出版事業	・寺子屋運営事業や寺子屋開設支援事業で得た知見を生かし、書籍等を出版する。 ・本年度は、実施しなかった。	—	—	—
⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業		—	—	—

3 収支の状況

2024年度の経常収益は3,758,337円、経常費用は3,029,004円、当期経常増減額は729,333円、前期からの繰越分と合わせた次期繰越正味財産額は4,357,297円となった（詳細は活動計算書を参照）。2023年から2024年にかけて事業モデルの大幅な変更（塾・習い事型のモデルからコミュニティ型のモデルへ）を行い、従来の職員中心で運営する形態からボランティア組織に近い運営形態としたことから、人件費が大幅に減少し、黒字となった。

4 今後の事業の方針

運営モデルの変更後も、学びの場やイベントにおける参加者の体験の質を維持できているため、2025年は「全員が学習者」というコンセプトを体現する場づくりをさらに推し進めるとともに、新規の参加者募集も積極的に行いたい。また、委託事業による収入の減少が予想される中、共済費、寄付金、会費などで減少分をまかなえる体制を作り、黒字運営を継続したい。